

クリーン少年野球連盟試合規定と注意

- 1 本試合規定は、クリーン少年野球連盟規約の定めに基づき、連盟が主催するクリーンリーグ戦（以下「リーグ戦」という。）及びトーナメント大会（上部大会の予選大会等を含む）の試合実施基準を定める。
- 2 リーグ戦の実施
リーグ戦は、次の基準により実施する。
 - (1) 加盟チームの総当たりで行う。
A戦は6年生以下の選手で行い、B戦は「新人リーグ戦」と称し5年生以下の選手で行う。
 - (2) 選手登録
チーム登録は、毎年1月理事会で承認（しおり登載）する。追加、変更の登録は毎月の定例理事会とする。
 - (3) 回数
試合回数は、A戦、B戦ともに7回戦とする。
 - (4) 試合時間
A戦は1時間45分、B戦は1時間30分とする。
A戦は1時間45分を過ぎて新しいイニングに入らない。
B戦は1時間30分を過ぎて新しいイニングに入らない。
 - (5) 集合時間
試合開始40分前までに集合し、開始30分前に大会本部にメンバー表を提出する。
両チーム主将はジャンケンを行い、勝ったチームが優先的にベンチを決めることができる。一塁側ベンチ入りチームを後攻とし、三塁側ベンチを先攻とする。
 - (6) 延長の場合
特別ルール（無死満塁方式）……継続打順とする。打者の前の走者を1塁とし、二塁、三塁と順次塁をうめる（投手は除いても可）。このようにして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。同点の場合は再度行う。
無死満塁方式は、最長2回まで行えるが、なお同点の場合は、抽選にて勝敗を決する。
 - (7) コールドゲーム
A戦、B戦ともに、3回15点、4回10点、5回以降7点差以上ついた時又は強風、降雨、雷、日没などによる試合不能の場合は4回終了をもって成立する。
 - (8) 記録の提出
試合終了後、互いに記録の整理をし、確認を行い、所定の用紙を作成し、指導部員又は記録部員に提出すること。
 - (9) 成績（順位）
A戦、B戦ともに勝率により決定し、1～3位が同率の場合に限り、決定戦を行う。
決定戦の順位決定は、①総当たりの勝敗 ②得失点差 ③得点差の順で行う。4位以下は得失点差とする。

3 トーナメント大会の実施

トーナメント大会は、次の基準により実施する。

- (1) リーグ戦以外に連盟で主催する小松川平井地区少年野球大会、新人トーナメント大会、BS大会は、勝ち抜き戦（トーナメント戦）で行い、ルールは審判部で別途定める大会実施要項等による。
なお、定めなき時は、クリーン少年野球連盟試合規定と注意に準じる。
- (2) 審判部で別途定める大会実施要項等については、あらかじめ開催される代表者会あるいは抽選会において説明するものとする。
- (3) 集合時間
試合開始40分前までに集合し、開始30分前に大会本部にメンバー表を提出する。
ベンチは、番号の若いチームが一塁側、後のチームは三塁側とし、先攻、後攻はジャンケンで決める。

4 試合の実施基準

リーグ戦及びトーナメント大会は、次の基準（共通）により実施する。

- (1) 試合球
C号健康ボールを使用する。
- (2) ヘルメット
ヘルメット（耳付き）は、8個以上用意し、打者、次打者、走者、一、三塁コーチは、ベンチからヘルメットを着用してコーチアスボックスへ行くこと。また、ボールボーイもヘルメットを着用すること。（審判へのボール渡しは着帽のままよい）
- (3) 捕手の防具
捕手は、マスク、ヘルメット、プロテクター、レガーズを着用する。
なお、投球練習の際も同様とする。
- (4) バット
金属バットは、全軟連（JSBB）マークのあるものを使用すること。
ただし、古いバット、マークが消えているものやへコミ、キズ等打った時に不規則な打球になると審判が判断した場合は、使用できない。
- (5) 次打者
ネクストバッターズサークルでは立って待機すること。ただし、バットを振ることは禁止する。
- (6) 投手
投手は、変化球の使用を禁止する。また、投手は1人1日7イニングまでの投球制限とする。投球イニングに端数が生じた時の取り扱いについては、3分の1回（アウト1つ）未満であっても1イニング投球したものとして数える。
- (7) 投球練習
初回交代の場合に限り、1分以内8球、1イニング投球は4球以内とする。（日本軟式野球連盟ルールに準ずる。）

- (8) ベンチ入り、ユニフォーム等
ベンチに入ることができるのは、選手20名、代表、監督、コーチ(28番、29番)2名、スコアラー、保護者代表各1名以内、計26名までとし、試合前の練習は開始30分前までにメンバー表を登録した時点から、監督、コーチ(28番、29番)以外はグラウンド内に入って行うことは出来ない。また、監督、コーチ(28番、29番)、選手は統一したユニフォーム、帽子を着用すること。ただし、理事会で承認した場合はこの限りではない。
- (9) 抗議権
抗議権は、当該選手と監督とする。
- (10) グラウンドルール
球場により、審判部が決定したルールを適用する(理事会にて承認)。
- (11) 放棄試合
所定の場所、時間に集合できない場合、放棄試合とみなし7対0をもって試合終了とする。ただし、事前連絡があった場合、連絡ミスなどのあった場合は理事会にて審議決定する。
- (12) 試合ルール
本規定に定めなき事項は、日本軟式野球連盟ルールに準ずる。
- (13) ファールボールの処理
一塁方向は一塁ベンチ、三塁方向は三塁ベンチ、ネット周辺は攻撃側が取りに行く。
- (14) 試合の進行
審判の指示に従い円滑に行なうこと。
- (15) 公式戦日程
運営部で作成する。
雨天の連絡について……審判部と運営部とが協議を行ない、午前7時までに決定する。各チームの責任者に、7時から7時30分までに運営部長が確認の電話をする。
- (16) その他
その他、試合などに関する必要とされる事項については、理事会において十分審議し、決定されるものとする。